

JPA事務局ニュース <No.189> 2015 年 3 月 29 日

>>>
>>>
<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)事務局
発行責任者/水谷幸司
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610 号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

☆ J P A 伊藤代表理事が第 11 回ヘルシー・ソサエティ賞を受賞

公益社団法人日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループが共催する第 11 回ヘルシー・ソサエティ賞を、J P A の伊藤たてお代表理事が受賞しました。

受賞式と祝宴が 3 月 25 日(水)にパレスホテル東京「葵」の間で行われ、安倍内閣総理大臣、宮沢経済産業大臣をはじめ、国会議員、大臣経験者や医療、健康分野の著名人など多数が参加しました。



ヘルシー・ソサエティ賞は、よりよい明日に向け健全な社会と地域社会の幸せを願い、国民のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献した人々を称える目的で、平成 16 年に公益社団法人日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループによって創設されたもので、今回が 11 回目となります。今回の受賞者の審査委員は次のとおりです。

○審査委員/岩男壽美子(慶應義塾大学名誉教授)、川口順子(元外務大臣)、高久史磨(日本医学会会長)、竹内行夫(前最高裁判事)、堂本暁子(前千葉県知事)、日野原重明(聖路加国際病院名誉院長)、福田康夫(元内閣総理大臣)、横倉義武(日本医師会会長)

伊藤たてお代表理事の推薦者は、松谷有希雄国立保健医療科学院院長でした。また受賞式では、審査委員の堂本暁子前千葉県知事より、紹介とともに記念品が授与されました。

伊藤代表理事の受賞スピーチを全文、紹介します。



このような素晴らしい賞をいただきまして身に余る光栄です。これも、多くの患者会、研究者、医療・福祉関係者、国や自治体の担当者、マスコミの支援、友人知人、そして患者を支える家族が一緒に取り組んできたことが、評価されたのだと思います。国においても、国会議員や、地域の自治体の議員、みなさんのおかげでこのような賞をいただくことができました。

患者会には3つの役割があると私たちは言っております。一つは、自らが自分の病気を正しく知ること、もう一つは、病気であっても、生きる勇気をもつということです。そして3つめは、難病であっても、高齢であっても、障害があっても、人間としての尊厳をもって地域社会で生きていくことができる、そういう社会をつくるということが、患者会の3つの役割です。

今日はこのような賞をいただきましたが、長い間、難病というのは非常にマイナーな問題でありました。表に出ることも出来ず、偏見のなかにおりました。そういうなかで今日は、安倍首相が冒頭から難病のことをお話していただきました。そして月曜日には皇太子殿下に接見することができるというお話をいただきました。これは長い難病の歴史のなかで、まさにこの難病の歴史に光があたった瞬間だと思います。

このような素晴らしい賞をご用意いただいた日本看護協会、ジョンソン・エンド・ジョンソン、そしてご参会のみなさま、ご推薦いただいたみなさまに、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



(水谷幸司)

☆PADM遠位型ミオパチー患者会（JPA準加盟団体）が、 グーグルインパクトチャレンジ グランプリを受賞！

グーグルが公募したインパクトチャレンジにファイナリストとして10団体に残ったNPO法人PADM遠位型ミオパチー患者会の企画「みんなでつくるバリアフリーマップ・プロジェクト」が、見事グランプリに選ばれました。

ファイナリストの最終選考では、加盟団体、準加盟団体、関係団体等に、JPAからもご協力をお願いしました。ご協力くださったみなさまに、心からお礼を申し上げます。

